

平成 29 年度 第2次総合計画 施策マネジメントシート  
(平成 28 年度の実績評価)

作成日 平成 29 年 7 月 18 日  
更新日 平成 年 月 日

総合計画体系	政策No.	1	政策名	安全でみどり豊かな人がつながるまちの形成	施策主管課	農林商工部 みどり自然課
	施策No.	4	施策名	自然と共生する地域づくり	施策主管課長名	伊井 和美
施策関連課名			政策推進課、環境課、観光商工課			

1 施策の目的

① 対象(誰、何を対象としているのか) * 人や自然資源等 市民 事業所 自然環境 対象の大きさを表す指標 ⇒ 2-① 対象指標	② 意図(この施策によって対象をどう変えるのか) 豊かな自然資源の保全・活用への関心が高まる。 人と自然が調和した持続可能なまちづくりが行なわれる。 意図の達成度を表す指標 ⇒ 2-② まちづくり指標
--	---

2 指標の推移、指標設定の根拠等

指標区分、指標名		単位	数値区分	基本計画 現況値	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
① 対象指標	ア 人口(外国人含む)	人	見込み値		72,644	72,322	72,001	71,680	71,359	71,038
			実績値	72,963	72,715	72,305	72,018			
	イ 事業所数(経済センサス基礎調査)	事業所	見込み値		3,161	3,161	3,161	3,161	3,161	3,161
			実績値	3,161	3,161	3,161	3,161			
	ウ 市の面積	km <sup>2</sup>	見込み値		264.07	264.14	264.14	264.14	264.14	264.14
			実績値	264.07	264.14	264.14	265.14			
② まちづくり指標	A ユネスコエコパークの認知度	%	目標値		未設定	30.0	35.0	40.0	45.0	50.0
			実績値	26.5	39.4	38.3	32.3			
	B 登山ガイド・自然ガイド認定登録者数	人	目標値		52	74	84	94	104	114
			実績値	19	52	50	56			
	C 自然エネルギーの活用による発電量	kwh	目標値		1,062,900	1,089,400	1,115,900	1,142,400	1,168,900	1,195,000
			実績値	980,130	1,166,528	1,134,105	1,056,491			
	D 公用車クリーンエネルギー化率	%	目標値		未設定	37.0	39.0	41.0	44.0	45.0
			実績値	34.5	34.5	34.9	35.1			
	E		目標値							
			実績値							
まちづくり指標設定の考え方 【まちづくり指標の測定規格(アンケートか、統計か、数式など)】				<p>A: 自然との共生についての市民の認識を示す。 【市民アンケートの『あなたは、ユネスコエコパークについてご存知ですか』において、「知っている」と回答した人の割合】</p> <p>B: 自然環境の保全に関する取り組みを示す。 【①～③の合計 ①南アルプスガイドクラブ登録ガイド数(日本山岳ガイド協会公認ガイド[4月1日現在]) ②南アルプス市ネイチャーガイド協会における認定ガイド数 ③南アルプス市在住のNACS-J自然観察指導員登録者数】</p> <p>C: 新エネルギーの普及状況を示す。 【自然エネルギー活用による発電量(金山沢川発電所発電量+公共施設太陽光発電量)】</p> <p>D: 公共設備における環境負荷の低減を示す。 【全公用車のうち低公害車等の占める割合(低公害車等台数÷全公用車台数)】</p>						
目標値の設定の根拠(前提条件や考え方)				<p>A: エコパークの周知活動を推進し、5年間で約25%の増加を目指す。</p> <p>B: ①南アルプスガイドクラブ登録ガイド数はH31年まで現況の27人を維持し、②南アルプス市ネイチャーガイド協会における認定ガイド数は年間約10人の認定を目指す、③NACS-J自然観察指導員登録者数は現在認定されている12人の維持を目指す。(H25年度実績:①0人+②9人+③10人=19人、H31目標値:①27人+②75人+③12人=114人)</p> <p>C: H26年度に見込まれる発電量をもとに目標値を積算。基準値(H26)1,062,900kwh=金山沢発電電定量370,000kwh(740,000kwhの50%)+公共施設太陽光発電電定量692,900kwh 目標値の伸び率を年間実績に基づき2.5%と設定(H31基準値×12.5%=1,195,762kwh、H25年度実績値:小水力発電338,880kwh+太陽光発電641,250kwh)</p> <p>D: 公用車の低公害車(燃費基準達成車・ハイブリット車・電気自動車等)の導入率。管財契約課の公用車更新計画をもとに算出。</p>						

3 予算等の推移

※当初予算。骨格予算の年度は6月補正後

区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
関連事業本数	38	43	29	26	22		
関連事業予算額(単位:千円)	89,070	125,329	65,600	55,376	50,657		
(予算額の内訳)	国庫支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	23,920	33,255	31	31	291	
	地方債	0	14,100	0	0	0	
	その他	6,473	30,583	19,710	20,515	11,906	
	一般財源	58,677	47,391	45,859	34,830	38,460	

#### 4 評価結果(施策の有効性評価)

<p>① 目標達成度評価(目標値と実績値との比較)</p> <p><input type="checkbox"/> 目標値より高い実績値だった</p> <p><input type="checkbox"/> 目標値どおりの実績値だった</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 目標値より低い実績値だった</p>	<p>※左記の理由</p> <p>「自然エネルギーの活用による発電量」については、水力発電所の発電量が前年より119,740kwh減少した。</p> <p>また、「公用車クリーンエネルギー化率」は、目標に対し3.9ポイント下回ったものの、昨年から0.2ポイント上がった。</p> <p>ユネスコエコパークの認知度については、登録3年目で約6ポイントの減少となった。</p>
<p>② 時系列比較(過去3ヶ年程度の比較)</p> <p><input type="checkbox"/> 成果がかなり向上した</p> <p><input type="checkbox"/> 成果がどちらかと言えば向上した</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 成果はほとんど変わらない(横ばい状態)</p> <p><input type="checkbox"/> 成果がどちらかと言えば低下した</p> <p><input type="checkbox"/> 成果がかなり低下した</p>	<p>※左記の理由</p> <p>「自然エネルギーの活用による発電量」は、公共施設への太陽光発電を順次導入しているが、太陽光発電量、水力発電量ともに、その年の天候に左右される。</p>
<p>③ 他自治体との成果実績値の比較</p> <p><input type="checkbox"/> かなり高い成果水準である</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> どちらかと言えば高い成果水準である</p> <p><input type="checkbox"/> ほぼ同水準である</p> <p><input type="checkbox"/> どちらかと言えば低い成果水準である</p> <p><input type="checkbox"/> かなり低い成果水準である</p>	<p>※左記の理由</p> <p>太陽光発電の導入に加え、小水力発電の導入にも取り組んでいる。</p>
<p>④ 住民の期待する成果水準との比較</p> <p><input type="checkbox"/> かなり高い成果水準である</p> <p><input type="checkbox"/> どちらかと言えば高い成果水準である</p> <p><input type="checkbox"/> ほぼ同水準である</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> どちらかと言えば低い成果水準である</p> <p><input type="checkbox"/> かなり低い成果水準である</p>	<p>※左記の理由</p> <p>公共施設での発電量は横ばい状態であり、市民からの太陽光発電等の設置補助申請数は減少している。</p>

#### 5 まとめ(課題の抽出とその解決に向けた取り組み)

施策の課題 (現状の問題点)	課題を解決し、施策の実現を図るための取り組み方針	
	課題解決の方向性	具体的な改善策・取り組み内容
<p>公共施設における太陽光発電システムの老朽化が進行し、不具合が発生している。</p>	<p>各施設管理担当による適切な維持管理を徹底する。</p>	<p>年間を通じて適切な維持管理業務委託により状況を把握するとともに、不具合が生じた場合は、速やかな予算措置と対応に努める。</p>
<p>南アルプスに生息する希少な高山蝶の保護・保全。</p>	<p>個体数の生息調査をするとともに、保護・保全に向けたパトロールとPR活動を行う。</p>	<p>現在南アルプス林道～広河原及び北沢峠と大権沢に生息するクモマツマキチョウについては、長野県は天然記念物に指定し文化財保護条例で採取禁止となっているが、山梨県側では規制が無い為専門家やマニアが採取している状況である。6月に県総務部理事が来庁の際に長野県と足並みを揃えて保護を行うように要望を行った。</p>
<p>世界自然遺産に比べユネスコエコパークの理解度や認知度は低い。</p>	<p>行政主導で始まった事業であるため住民や関係機関等へのユネスコエコパークの周知活動を推進する必要がある。</p> <p>(1) 南アルプス自然環境保全活用連携協議会の活用</p> <p>(2) 管理運営体制の構築</p> <p>(3) 普及啓発事業</p> <p>(4) 日本ユネスコエコパークネットワークとの連携</p> <p>(5) 情報発信の充実</p> <p>目標、取組みエリアを明確にして、具体的な事業実施につなげる。まずは本市がこれまで取り組んできた事業(自然体験プログラム実施、ガイド育成等)を活かした環境教育の推進を行う。取組みエリアは楡形山及び伊奈ヶ湖周辺を中心に行う。</p>	<p>(1) 南アルプス自然環境保全活用連携協議会の活用</p> <p>H28に3県構成10市町村の組織がユネスコエコパークの活動を主軸とした組織に再編されたことで本地域のユネスコエコパークの事業が円滑に行えるようになった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域連絡会議(定例担当者会議)の開催</li> <li>・各種ワーキング会議の開催</li> <li>・役員市調整会議の開催</li> </ul> <p>(2) 管理運営計画の策定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成28-29年度にかけて南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画を策定</li> <li>・管理運営計画ワーキンググループ(リーダー市:南アルプス市)を中心に策定</li> </ul> <p>(3) 普及啓発事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各種説明会・講座の開催(企業、住民向け、学校教育関係)</li> <li>・芦安山岳館の企画展示等によるPR活動</li> </ul> <p>(4) 日本ユネスコエコパークネットワークとの連携</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国内登録地及び申請地域による各種事業開催及び国内登録地との連携による普及活動</li> </ul> <p>(5) 情報発信の充実(市HP、市広報、ユネスコエコパークHP)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フェイスブックによる情報発信</li> </ul> <p>子供たちが小学生過程において自然体験を通して、地域の自然環境を理解し、生きる力教育へと発展できるような取組みを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然環境教育、学校登山の推進(市内小学生及び親子向け)</li> <li>・楡形山の活用、保全</li> <li>・伊奈ヶ湖周辺施設の活用、充実</li> <li>・自然体験プログラムを提供できる民間組織等の活用等</li> </ul>